

ワークシート 4.1 訓練計画ワークシート

ターゲットの特定

WHAT

- それは、患者にとって実用的な意味のある機能的なターゲットか。周囲の関係者にとって有益か。患者と協同で設定したか。患者の生活における参加機会を増やすものか。
- 患者はターゲットに対して意欲的か。どのようにして患者のモチベーションを高めるか。
- 事前に教えるべきスキルはあるか。
- ステップや個々のスキルを特定したか(例：タスク分析)。患者と協同でステップを考え、患者が訓練過程を理解できるようにしたか。
- ターゲット習得にプラスまたはマイナスに影響する患者の特性を考慮したか。
- ターゲット習得にプラスまたはマイナスに影響する患者の特性を環境の特性を考慮したか。
- ターゲット習得の程度をどのように測定するか。適切な尺度は何か。

訓練実施法の特定

WHEN and HOW

訓練頻度： _____ / 週
セッション時間： _____ 分
訓練持続期間： _____ セッション, 週, 月

- ターゲット習得を促進するために必要な材料は何か。
- セッション内に十分な練習の機会があるか。
- セッション間に十分な練習の機会があるか。
- モデリングから分散訓練への進行計画は。
- 刺激-応答のパターンに変化をつける計画は。十分な例題があるか。
- フォローアップの計画を立てたか。

WHERE

- 般化の計画を立てたか。
- 般化、維持、実効果をどのように測定するか。
- セッション外での訓練実施者が存在するか。
- 宿題を適切に実施させるにはどうしたらよいか。

ワークシート 5.1 SR 訓練ワークシート (I)

患者氏名： _____ 訓練のタイプ： _____

日付： _____

訓練する言葉： _____

学習内容： _____

前回のセッションで課題想起ができた最長間隔時間： _____

セッションの開始時に課題を想起できたか はい/いいえ

下の数字は、課題想起間隔時間(分)を示している。課題想起できた時間を○で囲み、想起が正しかったかどうかを(+), (-)で最後のマスに記入する。

1	2	3	4	5	6	8	10	12	14	15	16	18	20	22	24	25	26	28	32	
1	2	3	4	5	6	8	10	12	14	15	16	18	20	22	24	25	26	28	32	
1	2	3	4	5	6	8	10	12	14	15	16	18	20	22	24	25	26	28	32	
1	2	3	4	5	6	8	10	12	14	15	16	18	20	22	24	25	26	28	32	
1	2	3	4	5	6	8	10	12	14	15	16	18	20	22	24	25	26	28	32	
1	2	3	4	5	6	8	10	12	14	15	16	18	20	22	24	25	26	28	32	
1	2	3	4	5	6	8	10	12	14	15	16	18	20	22	24	25	26	28	32	
1	2	3	4	5	6	8	10	12	14	15	16	18	20	22	24	25	26	28	32	
1	2	3	4	5	6	8	10	12	14	15	16	18	20	22	24	25	26	28	32	
1	2	3	4	5	6	8	10	12	14	15	16	18	20	22	24	25	26	28	32	
1	2	3	4	5	6	8	10	12	14	15	16	18	20	22	24	25	26	28	32	
1	2	3	4	5	6	8	10	12	14	15	16	18	20	22	24	25	26	28	32	
1	2	3	4	5	6	8	10	12	14	15	16	18	20	22	24	25	26	28	32	

訓練ゴール	現在の状態

機能の改善・状態： _____

署名： _____

From Brush and Camp (1998). Reproduced by permission. Permission to photocopy this form is granted to purchasers to *Optimizing Cognitive Rehabilitation : Effective Instructional Methods* by McKay Moore Sohlberg and Lyn S. Turkstra (The Guilford Press, 2011) for personal use only (see copyright page for details).

ワークシート 5.2 SR 訓練ワークシート (II)

患者氏名： _____ 訓練のタイプ： _____

日付： _____

訓練する言葉： _____

学習内容： _____

前回のセッションで課題想起ができた最長間隔時間： _____

セッションの開始時に課題を想起できたか はい/いいえ

下の数字は、課題想起間隔時間(分)を示している。課題想起できた時間を○で囲み、想起が正しかったかどうかを(+), (-)で最後のマスに記入する。

1	2	3	4	5	6	8	10	12	14	15	16	18	20	22	24	25	26	28	32	
1	2	3	4	5	6	8	10	12	14	15	16	18	20	22	24	25	26	28	32	
1	2	3	4	5	6	8	10	12	14	15	16	18	20	22	24	25	26	28	32	
1	2	3	4	5	6	8	10	12	14	15	16	18	20	22	24	25	26	28	32	
1	2	3	4	5	6	8	10	12	14	15	16	18	20	22	24	25	26	28	32	
1	2	3	4	5	6	8	10	12	14	15	16	18	20	22	24	25	26	28	32	
1	2	3	4	5	6	8	10	12	14	15	16	18	20	22	24	25	26	28	32	
1	2	3	4	5	6	8	10	12	14	15	16	18	20	22	24	25	26	28	32	
1	2	3	4	5	6	8	10	12	14	15	16	18	20	22	24	25	26	28	32	
1	2	3	4	5	6	8	10	12	14	15	16	18	20	22	24	25	26	28	32	
1	2	3	4	5	6	8	10	12	14	15	16	18	20	22	24	25	26	28	32	
1	2	3	4	5	6	8	10	12	14	15	16	18	20	22	24	25	26	28	32	
1	2	3	4	5	6	8	10	12	14	15	16	18	20	22	24	25	26	28	32	

訓練ゴール	正反応数	誤反応数	%

機能の改善・状態： _____

署名： _____

From Brush and Camp (1998). Reproduced by permission. Permission to photocopy this form is granted to purchasers to *Optimizing Cognitive Rehabilitation : Effective Instructional Methods* by McKay Moore Sohlberg and Lyn S. Turkstra (The Guilford Press, 2011) for personal use only (see copyright page for details).

ワークシート 5.3 事実と概念教示計画ワークシート

長期的ゴール：

初期習得サブ
ゴール：

(訓練手技、ターゲットタスク、進捗評価基準、達成評価基準、自立度、タスクの内容と実行される状況を明示する)

HOW

(方法を明示する；例：MCV, SR, 精緻化, 視覚化, 記憶術, 方略訓練)

- 実用的なターゲットである
- 患者用に個別化されている
- 状況が特定されている
- 進捗基準が長期的ゴールや短期的サブゴールに明記されている

モチベーション促進のための計画：

WHEN

訓練頻度：	_____ 回 / 週
セッション時間：	_____ 分
訓練持続期間：	_____ セッション, 週, 月

- セッション内に十分な練習の機会がある
- セッション間に十分な練習の機会がある

ターゲット使用は、同じ状況か、新しい状況か

同じ状況：固定した刺激＝_____

新しい状況：変化する刺激＝_____

ターゲットの性質

単純：分散提示の計画 _____

複雑：集中提示の計画 _____

WHO

セッション外での訓練実施者

- セッション期間中、訓練室外での追加訓練をサポートする人
- 般化を促進するための十分な人々の存在

サポートする人の訓練計画： _____

ワークシート 6.1 多段階タスク教示計画ワークシート

長期的ゴール：	<input type="text"/>						
初期習得サブゴール：	<input type="text"/>						
	(訓練手技, ターゲットタスク, 進捗評価基準, 達成評価基準, 自立度, タスクの内容と実行される状況を明示する)						
前提条件となるスキル：	<input type="text"/>						
WHAT (方法を明示する; たとえば, MCV, SR, 精緻化, 視覚化, 記憶術, 方略訓練) タスク分析(ステップをリストアップする)	<input type="checkbox"/> 実用的なターゲットである <input type="checkbox"/> 患者用に個別化されている <input type="checkbox"/> 状況が特定されている <input type="checkbox"/> 進捗基準が長期的ゴールや短期的サブゴールに明記されている						
<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>							
モチベーション促進のための計画：	<input type="text"/>						
WHEN and HOW	<table border="1"><tr><td>訓練頻度：</td><td>_____ / 週</td></tr><tr><td>セッション時間：</td><td>_____ 分</td></tr><tr><td>訓練持続期間：</td><td>_____ セッション 回, 週, 月</td></tr></table>	訓練頻度：	_____ / 週	セッション時間：	_____ 分	訓練持続期間：	_____ セッション 回, 週, 月
訓練頻度：	_____ / 週						
セッション時間：	_____ 分						
訓練持続期間：	_____ セッション 回, 週, 月						
<input type="checkbox"/> セッション内に十分な練習の機会がある <input type="checkbox"/> セッション間に十分な練習の機会がある							

(つづく)

ワークシート 6.1 多段階タスク教示計画ワークシート(つづき)

タスク開始に必要なアイテムをリストアップし、刺激の多様化についても具体的に計画する

モデリングから分散訓練までの移行計画

WHO セッション外での訓練実施者

- セッション期間中、訓練室外での追加訓練をサポートする人
- 般化を促進するために十分な数の人々

サポートする人の訓練計画

WHERE

- さまざまな状況への般化の計画がある
- さまざまな状況への般化の手段は長期的ゴールに組み込まれている

ワークシート 6.2 多段階タスク初期評価ワークシート

初期評価		
患者： _____		日付： _____
ターゲットタスク： _____		
タスク開始のキューとなる刺激： _____		
ステップのリストアップ	正確性 (+/-/キュー)	コメント
ベースライン： ____/____		

(つづく)

Copyright 2011 by The Guilford Press. All rights reserved. Permission to photocopy this form is granted to purchasers of *Optimizing Cognitive Rehabilitation : Effective Instructional Methods* by McKay Moore Sohlberg and Lyn S. Turkstra for personal use only (see copyright page for details).

ワークシート 6.2 多段階タスク初期評価ワークシート(つづき)

キュー決定のための評価		
ステップ・先行行動	キューの種類	効果
キューの計画		
レベルⅠ	_____	_____
レベルⅡ	_____	_____
レベルⅢ	_____	_____
レベルⅣ	_____	_____
レベルⅤ	_____	_____

ワークシート 6.3 多段階タスク進捗モニタリングフォーム

タスク : _____					
長期的ゴール : _____					
初期習得サブ ゴール : _____					
セッションデータ					
ステップ					
所要時間 :					
モチベーション / 促進方略 :					
訓練中の般化プログラム :					
コメント :					
注 : 完了したステップ数をグラフにする。					

Copyright 2011 by The Guilford Press. All rights reserved. Permission to photocopy this form is granted to purchasers of *Optimizing Cognitive Rehabilitation : Effective Instructional Methods* by McKay Moore Sohlberg and Lyn S. Turkstra for personal use only (see copyright page for details).

ワークシート 6.4 多段階タスクセッションデータフォーム

患者			日付
段階	集中訓練の回数 とキュー	分散訓練の持続 時間と回数	コメント
1.			
2.			
3.			
4.			
5.			
6.			
要約			
次回セッションへのメモ			
注：+正反応、-誤反応、M=モデリング、C=キュー			

Copyright 2011 by The Guilford Press. All rights reserved. Permission to photocopy this form is granted to purchasers of *Optimizing Cognitive Rehabilitation : Effective Instructional Methods* by McKay Moore Sohlberg and Lyn S. Turkstra for personal use only (see copyright page for details).

ワークシート 7.2 外的エイド教示計画ワークシート

外的エイド： _____

基本的機能	必要とされるスキル	実効果・ゴール	
		短期	長期

長期的ゴール：

初期習得サブゴール：

(訓練手技、ターゲットタスク、進捗評価基準、達成評価基準、自立度、タスクの内容と実行される状況を明記する)

WHAT (ツールの使い方)
タスク分析 (ステップをリストアップ)

- 患者用に個別化されている
- 状況が特定されている
- 進捗基準が長期的ゴールや短期的サブゴールに明記されている

モチベーション促進のための計画：

(つづく)

ワークシート7.2 外的エイド教示計画ワークシート(つづき)

周囲からのサポートを得るための計画:

WHEN and HOW

訓練頻度: _____ / 週
1セッションの時間: _____ 分
訓練期間: _____ 回, 週, 月

- セッション内に十分な練習の機会がある
- セッション間に十分な練習の機会がある

ツールを使う練習と刺激の多様化に必要なアイテム

モデリングから分散訓練への移行計画

WHERE (実際に外的エイドを使う場所)

WHO (訓練やツールの利用をサポートする人)

状況の記述:

サポートする人の訓練計画:

ワークシート 7.3 外的エイド初期評価ワークシート

初期評価		
患者氏名： _____		日付： _____
外的エイド機器： _____		
エイド使用の先行条件： _____		
ステップのリストアップ	正確性 (+/-/キュー)	コメント
ベースライン ____/____		

(つづく)

Copyright 2011 by The Guilford Press. All rights reserved. Permission to photocopy this form is granted to purchasers of *Optimizing Cognitive Rehabilitation: Effective Instructional Methods* by McKay Moore Sohlberg and Lyn S. Turkstra for personal use only (see copyright page for details).

ワークシート7.4 外的エイド進捗モニタリングフォーム

外的エイド： _____					
長期的ゴール： _____					
初期習得サブ _____					
ゴール： _____					
<hr/>					
方略のステップ	セッションデータ				
所要時間：					
サポート：					
モチベーション / 促進方略：					
般化の計画：					
コメント：					
注：完遂したステップ数をグラフにする。					

Copyright 2011 by The Guilford Press. All rights reserved. Permission to photocopy this form is granted to purchasers of *Optimizing Cognitive Rehabilitation : Effective Instructional Methods* by McKay Moore Sohlberg and Lyn S. Turkstra for personal use only (see copyright page for details).

ワークシート7.5 外的エイドセッションデータフォーム

氏名：		日付：	
ステップ	集中訓練の回数 とキュー	分散訓練の持続 時間と回数	コメント
1.			
2.			
3.			
4.			
5.			
6.			
要約			
次回セッションへのメモ			
注：+正反応、-誤反応、M：モデリング、C：キュー			

Copyright 2011 by The Guilford Press. All rights reserved. Permission to photocopy this form is granted to purchasers of *Optimizing Cognitive Rehabilitation: Effective Instructional Methods* by McKay Moore Sohlberg and Lyn S. Turkstra for personal use only (see copyright page for details).

ワークシート 7.6 維持データフォローアップフォーム

日付： _____
 _____ 週経過
 _____ 様

本日お手紙差し上げましたのは _____ の作業がどのように進められているか確認させていただくためです。現在、リハビリテーションで学習したツールを使ってどのくらい支援が必要か、あなたが予想される支援の必要性と比較して評価してください。また、そのツールの使用頻度についてもお答えください。情報を記入し、この手紙を返信していただくことで、回復や結果の経過観察を行うことができます。ご協力に感謝いたします。

自立レベル	期待自立レベル	ツール使用頻度	コメント
自立レベル 1=不可 2=多くの手伝いが必要 3=ときどき手伝いが必要 4=声掛けのみ 5=自立		ツール使用頻度 0=まったく使用なし 1=週に1度 2=週に数回 3=ほぼ毎日	
もし何かご質問があれば、または訓練についてのリマインダーが必要、あるいはフォローアップ訪問の日程調整が必要であれば、(_____)までご連絡ください。			

Copyright 2011 by The Guilford Press. All rights reserved. Permission to photocopy this form is granted to purchasers of *Optimizing Cognitive Rehabilitation: Effective Instructional Methods* by McKay Moore Sohlberg and Lyn S. Turkstra for personal use only (see copyright page for details).

ワークシート 8.1 方略教示計画ワークシート

長期的ゴール：	
初期習得サブ ゴール：	
<small>(訓練手技, ターゲットタスク, 進捗評価基準, 達成評価基準, 自立度, タスクの内容と実行される状況を 明記する)</small>	
WHAT (ステップのリストアップ)	
<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>	
方略 (チェックリスト)	
<input type="checkbox"/> 方略は患者のニーズに適合している	
<input type="checkbox"/> 患者に十分な病識・気づきがある	
<input type="checkbox"/> 方略は患者用に個別化されている	
<input type="checkbox"/> 文脈や先行状況が特定されている	
<input type="checkbox"/> 進捗基準が長期的ゴールや短期的サブゴールに明記されている	
モチベーション促進のための計画：	

Copyright 2011 by The Guilford Press. All rights reserved. Permission to photocopy this form is granted to purchasers of *Optimizing Cognitive Rehabilitation: Effective Instructional Methods* by McKay Moore Sohlberg and Lyn S. Turkstra for personal use only (see copyright page for details).

ワークシート 8.1 方略教示計画ワークシート(つづき)

WHEN and HOW

訓練頻度： _____ / 週間
↓ セッションの時間： _____ 分
訓練期間： _____ 回, 週, 月

- それぞれのセッション中に十分な学習の機会がある。
- セッション全体を通して十分な学習の機会がある。

方略開始のキューとなりうる刺激をリストアップし、それらをもとに具体的計画を立てる：

進捗を目指す計画：

ワークシート 8.2 方略知識判定データシート

質問	日付					
方略の名前は何ですか						
方略のステップを言ってみてください						
方略を使うのはどんなときですか						
方略はどのように役に立ちますか						
M=modeled, 治療者が答えを全面的に教えた A=assisted, 治療者が答えを部分的に教えた I=independent, 自立。キューなし						

Copyright 2011 by The Guilford Press. All rights reserved. Permission to photocopy this form is granted to purchasers of *Optimizing Cognitive Rehabilitation: Effective Instructional Methods* by McKay Moore Sohlberg and Lyn S. Turkstra for personal use only (see copyright page for details).

ワークシート 8.3 方略進捗モニタリングフォーム

方略： _____					
長期的ゴール： _____					
初期習得サブ ゴール： _____					
セッションデータ					
方略のステップ・要素					
サポート(例：メモ，チェックリスト，声に出して言うこと，音声による促し)：					
モチベーション / 促進方略：					
訓練中の般化プログラム					
コメント					
注：完遂したステップ数をグラフにする。					

Copyright 2011 by The Guilford Press. All rights reserved. Permission to photocopy this form is granted to purchasers of *Optimizing Cognitive Rehabilitation: Effective Instructional Methods* by McKay Moore Sohlberg and Lyn S. Turkstra for personal use only (see copyright page for details).

ワークシート 9.1 ICF ワークシート

The diagram illustrates the ICF model. At the top is a box labeled '診断:' (Diagnosis). Below it are three boxes: '社会機能' (Social Function), '社会活動' (Social Activity), and '社会参加' (Social Participation). '社会機能' and '社会活動' are connected by a double-headed arrow, and '社会活動' and '社会参加' are also connected by a double-headed arrow. Below these three boxes are two boxes: '環境要因' (Environmental Factors) and '個人要因' (Personal Factors). Arrows point from '社会機能', '社会活動', and '社会参加' down to '環境要因' and '個人要因'. A vertical double-headed arrow connects '診断:' to '社会活動'. Below the diagram are two sets of horizontal lines for text entry: '計画:' (Plan) and '予後:' (Prognosis).

診断：

社会機能

社会活動

社会参加

環境要因

個人要因

計画：

予後：

Copyright 2011 by The Guilford Press. All rights reserved. Permission to photocopy this form is granted to purchasers of *Optimizing Cognitive Rehabilitation: Effective Instructional Methods* by McKay Moore Sohlberg and Lyn S. Turkstra for personal use only (see copyright page for details).

ワークシート 9.2 社会生活技能訓練計画ワークシート

WHAT

長期的ゴール：

初期習得サブ
ゴール：

(訓練手技、ターゲットタスク、進捗評価基準、達成評価基準、自立度、タスクの内容と実行される状況を明記する)

HOW

(方法を明示する；例：MCV, SR, 精緻化,
視覚化, 記憶術, 方略訓練)

- 実用的なターゲットである
- 患者用に個別化されている
- 状況が特定されている
- 進捗基準が長期的ゴールや短期的サブゴールに明記されている

モチベーション促進のための計画：

WHEN

訓練頻度： _____ / 週
セッション時間： _____ 分
訓練持続期間： _____ 回, 週, 月

- セッション内に十分な練習の機会がある
- セッション間に十分な練習の機会がある

ターゲット使用は、同じ状況か、あるいは、新しい状況か

同じ状況：固定した刺激＝ _____

新しい状況：変化する刺激＝ _____

ターゲットの性質

単純：分散提示の計画 _____

複雑：集中提示の計画 _____

WHO

セッション外での訓練実施者

- セッション期間中, 訓練室外での追加訓練をサポートする人
- 般化を促進するために十分な数の人々

サポートする人の訓練計画： _____

Copyright 2011 by The Guilford Press. All rights reserved. Permission to photocopy this form is granted to purchasers of *Optimizing Cognitive Rehabilitation: Effective Instructional Methods* by McKay Moore Sohlberg and Lyn S. Turkstra for personal use only (see copyright page for details).